御浜町の五十年 こんなことがありました。

３つの町村が１つの町へ。
御浜町は町制５０周年を迎えました。
半世紀にわたって刻んできた、
このまちのあゆみ。
ひとつひとつの出来事が、
わたしたちのまちの歴史です。

昭和初期　阿田和全景

年号	主なできごと
昭和33年9月	阿田和町・市木尾呂志村・神志山村が合併して御浜町となる
昭和36年10月	役場庁舎新築完成
昭和37年4月	上市木・下市木両小学校を統合して御浜小学校を設置
	県立紀南高等学校開校、仮校舎を阿田和小学校に置く
昭和38年5月	御浜小学校校舎・県立紀南高校校舎新築完成
昭和39年4月	尾呂志保育所（現市木保育所分園尾呂志保育所）開設
昭和40年3月	神木保育所（現市木保育所分園神木保育所）開 設
昭和41年1月	志原保育所開設
9月	神志山小学校校舎新築完成
昭和42年9月	御浜公民館（現下市木公民館）新築完成
昭和43年9月	町創立十周年記念式典挙行あわせて町章制定及びみはま音頭発表
昭和44年4月	阿田和・中立両小学校が統合し阿田和小学校設置
昭和46年5月	神木公民館新築完成
8月	阿田和保育園園舎新築完成
9月	広域営農団地基幹農道「オレンジロード」工事着工
昭和47年9月	南牟婁清掃施設組合「清掃センター」完成、ゴミ収集業務開始
昭和48年1月	阿田和公民館改装完成
8月	紀南高校、インターハイ男子ソフトボールで優勝
昭和49年5月	尾呂志公民館新築完成
昭和51年10月	紀南高校、佐賀国体男子ソフトボールで優勝
昭和52年1月	国営御浜開拓建設事業起工式
3月	片川小学校百年祭及び廃校式
10月	志原公民館新築完成
昭和53年9月	町創立二十周年記念式典挙行
昭和54年3月	市木保育所新築開設
4月	町の木にクロマツを制定
昭和55年4月	南牟婁民生病院を紀南病院と名称変更
5月	上市木公民館新築完成
	勤労者体育センター（現御浜町体育センター）新築完成
昭和58年11月	オレンジロード全線開通
昭和59年8月	阿田和中学校校舎新築完成
昭和60年5月	養護老人ホーム「松涛園」新築完成
6月	御浜町社会福祉協議会設立
昭和62年3月	紀南かんきつセンター新築完成
	（現三重県農業研究所紀南果樹研究室）
9月	御浜中学校校舎新築完成
昭和63年7月	パーク七里御浜モール「ピネ」オープン
9月	町創立三十周年記念式典挙行、御浜町民憲章、
	町の鳥「ホオジロ」町の花「みかんの花」制定
平成元年4月	中央公民館「アメニティホール」新築完成
平成3年7月	七里御浜大海水プール開設（平成17年休止）
平成4年3月	国営農地開発事業完了
平成5年3月	福祉健康センター新築完成
9月	御浜町・梓川村（現長野県松本市梓川自治区）友好親善提携締結
11月	藪恵壹投手阪神タイガースへドラフト1位で入団
平成6年3月	寺谷総合公園完成
平成7年3月	給食センター新築完成
平成8年3月	尾呂志診療所新築完成
4月	防災行政無線開局
12月	七里御浜海岸沖にて第五福龍丸エンジン引揚げ
平成9年6月	神木なかよしステーション新築完成
平成10年2月	熊野市消防署御浜分署新築完成
3月	山地工業団地造成事業完成
4月	熊野市・南郡広域消防業務開始
6月	老人保健施設「きなん苑」新築完成
8月	役場庁舎新築完成
9月	町創立四十周年記念式典挙行
平成11年3月	さぎりの里直売所新築完成
平成11年9月	全国カンキツ研究大会開催
平成12年10月	阿田和地区公共下水道供用開始
平成14年9月	紀南清掃センターRDF化施設稼動
平成15年1月	尾呂志学園新築完成
平成16年7月	「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録決定
平成17年3月	志原保育所新築完成
平成20年11月	町創立五十周年記念式典挙行

国営農地開発事業　中立地区

昭和40年頃 神志山交差点付近

紀南高校ソフトボール部全国制覇、優勝報告に来庁

昭和43年頃 南牟婁民生病院（現紀南病院）

昭和初期　阿田和本町通り

役場新庁舎

七里御浜大海水プール

役場旧庁舎

全国カンキツ研究大会

町創立40周年・新庁舎竣工記念式典

パーク七里御浜モール「ピネ」オープン

「御浜町の豊かさを次世代に」～この町と共に過ごした５０年～

御浜町が誕生したちょうどその頃、私はこの町に越してきました。昭和38年には子どもも生まれ、早いものでこの町と共に「人生五十年」の五十年を過ごしました。その間、暮らしは便利になりました。紀勢本線は全線が開通し、道路も整備されましたし、公共施設も完成して文化スポーツ活動も活発になりました。田んぼの一部は住宅団地に変わりました。

また、熊野古道は世界遺産に登録されました。私は熊野古道の語り部をしていますが、都会から来た人たちは「空気がおいしいですね。樹々や田畑の緑、澄んだ青空が素晴らしい。」と言ってくれます。

御浜町は本当に心休まるところです。この御浜町の花も実もある豊かさを次世代に伝えていこうではありませんか。（熊野古道語り部友の会幹事）